



第11回

今年も子どもたちが大活躍 「子どもまつり」

今年で12回目を迎える、市子どもまつりを11月3日(日・祝)に開催します。今回のキャッチフレーズは「みんなで行くよー! 子どもまつりー!」。このまつりを盛り上げる主役・子どもたちが構成された「子ども実行委員会」の活動の一部を紹介します。

問い合わせ先
子どもまつり実行委員会事務局
(子ども育成課)
☎(36) 12114

子ども実行委員会とは

子どもまつりは、市内の青少年育成や子育て支援に関わる団体で構成された実行委員会が企画・運営しています。その取り組みの一つとして、「子ども実行委員会」を組織しています。子どもが、

自分たちで企画し 手作りのまつりを

9月8日に実施した子ども実行委員会では、子どもたちは「お店企画」と「工作」を担当するグループに分かれて作業しました。「お店企画」では、6班に分かれた子どもたちの各リーダーが1人ずつ意見を出し合い協議。ソーセイジの販売方法の話し合いでは、「ソー



売り子箱のひもは、誰でも合うように長さを調整



大きな文字に苦勞した横断幕

立場も考え、真剣に話し合いました。「工作」では、ポスターや看板、売り子箱、会場用の横断幕などを制作。数枚の看板作りでは、「そっちの色何にした? こっちの色も合わせた方がいいよね」と配色のバ



カラーサインペンを使って、色とりどりの明るいポスターに仕上げていきました

子ども実行委員の感想

▽実行委員会では、嫌なことでも難しいこともないし、工作が楽しい! 鳥羽舞華(まいか)さん(河東西小4年)

▽楽しい子どもまつりになればいいなと思う! 黒木優騎(ゆうき)くん(赤間西小6年)

▽去年、子どもまつりに行って、楽しそうだったから実行委員会に入った。みんなで作り上げていくのが楽しい! 森田ひなのさん(日の里中1年)

▽協力して話し合うのが

家族みんなで楽しもう! 「子どもまつり」

子どもまつりは、地域全体での子どもの健全育成を目的として開催しています。今年の目玉は「かえっこバザール」。宗像ユリックス本館・ハワイエで実施します。おもちゃの



大人気だった食品バザー

集めると、おもちゃのオークションにも参加できます。その他にも、子どもに関するさまざまな団体の情報提供も実施。子育て中の人はもちろん、子どもを見守る地域のみなさんも足を運んでみませんか。当日は、子ども実行委員会が企画した開会식을午前9時50

【場所/主な催し】
▽ハワイエ/かえっこバザールのおもちゃ交換所、「お仕事体験」のハローワーク
▽ハーモニーホール/ステージパフォーマンス、市図書館を使った調べる学習コンクール表彰式、学童保育所百人一首大会本戦など
*今年も舞台を飛び出し、屋外でもパフォーマンスを披露します

イベントホールでの積み木遊び
▽イベントホール、イベントホールロビー/子どもたちの舞台発表、和太鼓体験、工作、積み木遊び、食育体験、市図書館を使った調べる学習コンクール作品展示など
▽ギャラリー、中庭、2階会議室/忍者修行教室、リサイクルバザー、乳幼児の手作りおもちゃ、木のおもちゃで遊ぶコーナー、バルーンアート、人形劇、子育てサロン、綿菓子、アレルギー対応食品の展示・試食、幼稚園・保育園紹介パネルなど
▽2階和室/学童保育所百人一首大会予選
*本戦はハーモニーホールで実施
▽玄関前、多目的広場/焼きそば、カレー、ポシ菓子、郷土料理、飲み物などの販売、工作、ゲームコーナー、フリーマーケット、大つり橋渡りなど

■日本は現在、東京オリンピック2020の話題で持ちきり! この東京招致に大きく貢献したといわれるPRフィルムは、なんと福岡にある制作会社が制作したもの! 出場する選手だけでなく、私のように体を動かすことが苦手な人など、いろいろな人が、何らかの形でオリンピックに参加できればいいな。(り)
■行楽の秋。息子が小さいころは喜ぶ顔が見たくて、本に出てくる特急列車での旅を楽しんでいたが、今の交通手段はもっぱらマイカー! 日本各地では旅を楽しむことができる、さまざまな特急列車が走っている! 子育て中の今は時間に追われ余裕がないが、いつか大人の列車の旅を楽しみたい。(く)
■10月27日から11月9日は読書週間! 中学2年生のころ、図書室の先生に勧められた「鬼の橋」という本を読み、とても感動し勇気ももらった。それは、今でも私のお気に入りの1冊となっている! 最近、本を読むことも少なくなりましたが、この機会に、新しく「お気に入りの本」を増やしたい。(お)

舞台裏